

プライオリティルールが施行されている競技中の「サスペンド」について

プライオリティルールが施行された競技中に優先順位が確定されている選手がプライマリテイクオフゾーン(以下「PTZ」)から外れた場合、プライオリティジャッジの判断によりその選手の優先順位が停止されます。

その際プライオリティカラー表示システムは、その選手が PTZ から外れる前の優先順位のカラー表示に「×」が表示されます。

その選手が再び PTZ に戻るとカラー表示の「×」は外され、優先順位が再開されます。

※PTZ に戻る前に波に乗る為のパドルリングが判断された場合、優先権は失われます。

サスペンドになる例

例 1 PTZ より岸寄りの波をキャッチする為、PTZ から外れた位置で波を待つ場合

例 2 選手がセットの波に巻かれて岸に戻され PTZ から外れた場合

例 3 選手が自分の競技エリアから離れた場合。

例 4 用具を交換する為、スタンドアップせず腹ばいの状態で波に乗り岸に戻る場合。

※選手はプライオリティカラー表示システムを常に確認する必要があります。選手が PTZ を離れた際、可能な範囲で PA システムを通じて警告されるが、それでも PTZ に戻らない場合はプライオリティジャッジの判断でその選手の優先順位が消失し、そのヒートにおける新たな優先順位を決定する場合があります。